

令和6年度古賀市男女共同参画計画（令和5年度事業）効果的な取組方法への助言

1. 具体的施策と効果が噛み合っていないケースが多いと感じる。（例えば、P18では「関係者への啓発」という計画に対して、「パネリストの男女比に配慮した」という成果が書かれている）。担当課に対し、計画通りの取り組みが難しい理由など詳細に聞き取りをしないと、話が進まないと思う。
2. 来場者数は、あまり男女の比率にこだわらず、多くの人に来てもらえることに集中し、工夫をして確実に改善を。
3. 【課題】までで終わっては、これを行っている意味がない。〔課題〕の内容を繰り返さないよう、その後どうなったのかまでが重要。
4. 全体的に、事業毎の参加者数が、単年度の単位で計上されているが、毎年経験が積み重ねられる報告になる。昨年と比較してどのような工夫をしてその結果、増えたか減ったかなどの事業の工夫と評価を掲載することで可視化されたいと考える。
5. 【課題】来場者数のために広報や時間の設定の工夫の必要がと記載されている。上記同様、もう少し明瞭に記載されるとよいのではないかと考える。
6. ジェンダー平等意識の向上を特に図る必要がある、中高齢の男性を取り込む様なイベントの実現を。
7. 毎年開催している12月の「いのち輝くまち☆こが」の講師にジェンダー平等をテーマに話していただける講師を選定しては。
8. まだまだ市役所以外の男性の育休取得が進んでいるとは考えにくい。広く育休取得を進める上で、イベント等で市育休取得した職員に経験談を話してもらうなどしてはどうか。
9. 高齢者向けの取組については、現状男女共同参画との関連が不明瞭なものが多いと感じる。難しいとは思いますが、男女共同参画を意識した内容の企画を願う。
10. あらゆる暴力は、絶対にやってはいけない事だと、やっている人に気づかせ、少しでも阻止できるように、暴力はいけない事を強調したポスターや看板を市内のあらゆるところに掲示し啓発を行う。